

### 特集

## 病棟で緩和ケア

短期入院や外来で化学療法が行われる昨今、緩和ケアの重要性は専門病棟よりもむしろ、一般病棟において高まっています。そこで求められるのは鎮痛薬を用いた苦痛の緩和というよりも、病態生理や薬理学をはじめとした幅広い知識に基づいた総合的なケアの力です。精神症状の見極め、輸液の管理、食事の工夫など、日々の当たり前のケアのなかにこそ、質の高い緩和ケアの可能性が眠っています。

■日常生活援助からはじまる緩和ケア 柏谷優子

■薬剤性精神症状の見極め方 小川朝生

■緩和のための輸液コントロール 中島信久

■がん治療中の食事を工夫する 白石由紀子

### Focus

## 自殺企図患者を受け入れる 救急看護師の葛藤

守村洋

### Lecture

## 美しい立ち方、疲れない座り方

矢田部英正

### 編・集・後・記

●8月末に夏休みをいただきました。といっても諸事情により旅行には行かず、終日自宅で過ごすことに。退屈かな、と思いきやさにあらず、部屋の片付け、掃除、洗濯、買い物、料理、後片付けといった「主夫」業をやっていると、あっという間に寝る時間という毎日でした。ただ一方では、家事の合間には、喫茶店でコーヒーを飲みながらゆっくりと読書をしたり、早起きしてギターの練習をするといった時間をとることもできた休日。普段の仕事中心生活ではなかなかできない、ゆったりとした時間の使い方を体験してみると「巣籠もり」も悪くないなあと思いました。お金も使わないし。

【鳥居】

●先日、看護管理学会を取材するために浜松へ行ってきました。演者や聴衆の熱気で会場のボルテージは上がりっぱなし。さらに、寝不足みだった私は、不甲斐ないことに浜松の暑さに負けてパテてしまいました。そこで、東京へ疲れを持ち帰らないためにうなぎを食べようと思い、うなぎ屋に向かいました。うなぎの名産地である浜松であれば、値段が安いだろうと思っていたら大間違い。予想を超えた値段の高さにびっくり仰天（相場を知らない私が非常識かも）。悩みながらも、そうそう浜松へは来られないだろうと思い、奮発してうなぎをいただきました。ほっぺたが落ちるくらいのおいしさで、疲れもどこかに消えていったようです。これで雑誌の売り上げがうなぎ登りになるようがんばれそうです。

【吉田】

看護学雑誌 第73巻第10号 2009年10月1日発行(毎月1回発行)

発行/株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2009, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体1,200円+税5%) 年々め予約購読料 13,200円、電子ジャーナル閲覧オプション付 18,200円(いずれも税込、送料弊社負担)

・定期購読のお申し込み先/(株)医学書院販売部 TEL 03-3817-5659

・Vol.71 No.9以前のバックナンバーのご注文先/(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

「看護学雑誌」編集室(担当/鳥居・吉田・白石) TEL 03-3817-5772

表紙・本文デザイン: DESIGNWORKSHOP JIN

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【JCOPY】〈社出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複写される場合は、そのつど事前に、(社出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, [info@jcopy.or.jp](mailto:info@jcopy.or.jp))の許諾を得てください。